

事務事業名		集会所文化教養講座開催事業(田沼地区)					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	教育総務部	担当課	生涯学習課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	人権教育係	担当課長名	小曾根治夫	
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 人権意識の高揚					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14356	一般	10	4	1	集会所文化教養講座開催事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S53年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市同和対策集会所条例、同施行規則					
	実施方法		講座・教室・イベント等開催事業		事業分類		講座・教室・イベント等開催事業		該当なし		
	リーディングプロジェクト		該当なし		市長マニフェスト		該当なし		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
各集会所において、5月～3月を通しての講座を企画、参加者を募集し、講師を依頼して高齢者教室、成人教室、文化教養講座を実施する。			各集会所において、5月～3月を通しての講座を企画、参加者を募集し、講師を依頼して高齢者教室、成人教室、文化教養講座を実施した。								
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
講座参加者総数			人	458	349	360	360	360			
講座開催回数			回	44	38	40	40	40			
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
地域住民(成人)			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
対象地域の住民(成人)			人	1,870	1,860	1,860	1,860	1,860			
目的											
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
地域住民の交流を深め、人権意識の高揚と健康の増進生活文化の振興を図る。人権尊重と人権問題に対する理解と認識を高める。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
講座参加者総数/対象地域の住民(成人)			%	24.5	24.0	24.1	24.1	24.1			
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
日常生活において、人権を意識している。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
人権講演会参加者で「日頃、人権を意識しながら生活している」と回答した人の割合			%	90.4	93.6	92.0	93.0	93.0			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	252	198	494	494	494			
	事業費計(A)	千円	252	198	494	494	494			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償費	231	報償費	149	報償費	408	報償費	408
			需用費	21	需用費	49	需用費	64	需用費	64
				役務費	2	役務費	2	役務費	2	
				使用料及び賃借料	20	使用料及び賃借料	20	使用料及び賃借料	20	
人件費	人	2	2	2	2	2				
のべ業務時間	時間	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000				
人件費計(B)	千円	3,891	3,941	3,941	3,941	3,941				
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,143	4,139	4,435	4,435	4,435				

事務事業名	集会所文化教養講座開催事業(田沼地区)	担当部	教育総務部	担当課	生涯学習課	担当係	人権教育係
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和40年に同対審答申が出され、昭和44年7月に同和対策事業特別措置法が施行された。同和地区における教育水準向上のため、昭和53年4月から小見町南小見集会所、昭和56年4月から多田町集会所で事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律が施行される(平成12年12月)。平成14年3月をもって地対財特法が失効し、すべての事業が一般対策に移行した。県人権条例が施行される(平成15年4月)。同和問題をはじめとする様々な人権問題を解決するため教育、啓発を推進する。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	文化教養講座を開催することにより人権教育の場を提供できる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	人権の尊重される社会づくりは市の責務であり、人権教育を推進する必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	集会所事業は、地域住民を対象としている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	毎年、地域住民の参加者があり、事業内容も充実している。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名   公民館事業 様々な人権問題解決を図る場としての集会所と公民館とは性格目的違う。
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	講師謝金や消耗品などは、必要最小限の予算で事業を行っている。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	集会所事業は、人権教育の場を提供し事業を実施する責務を有するので、受益者負担を求める必要がない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 現状では、基本的人権が十分に尊重されているとはいえ、地域住民の人権教育の場の提供は必要である。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			